

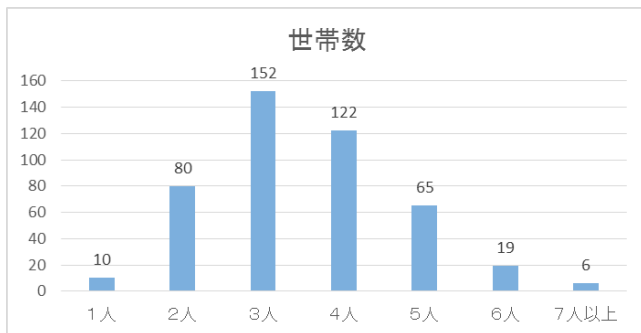
平成 28 年度住宅用省エネ設備導入支援補助に関するアンケート 結果概要

- アンケート名 平成 28 年度住宅用省エネ設備導入支援補助に関するアンケート
- 実施期間 平成 29 年 10 月 31 日アンケート発送、回答期限 11 月 15 日
- 回答数 454/719 名（回答率 63.1%）
- 各設問の結果

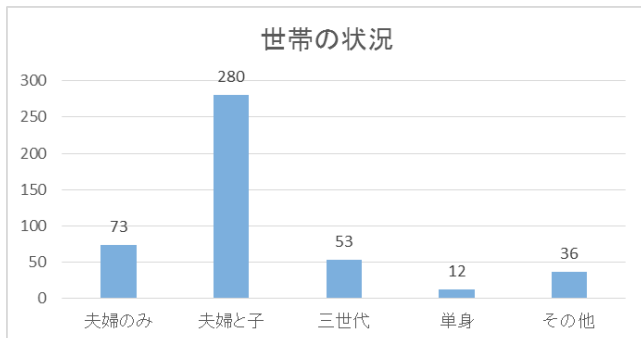
(1. ご家庭について)

→夫婦と子供の 3, 4 人の世帯で 6 割を占めていた。

設問 1 世帯人数を教えてください。



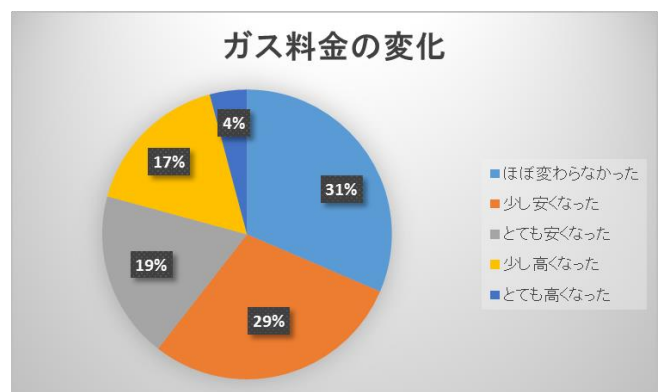
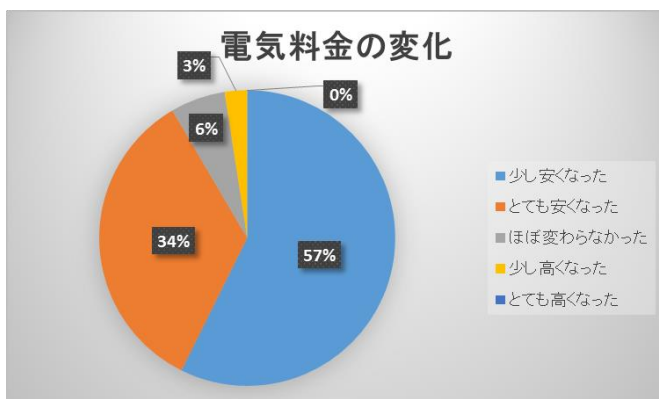
設問 2 家庭の世帯状況を教えてください。



(2. エネルギー使用量等について)

設問 3 設備の導入前と比較して、今夏の光熱費はどう変化しましたか。

→電気代は安くなったと感じている方が 9 割であるが、ガス代は約 5 割であり、逆にガス代は高くなったと感じている方が多かった。

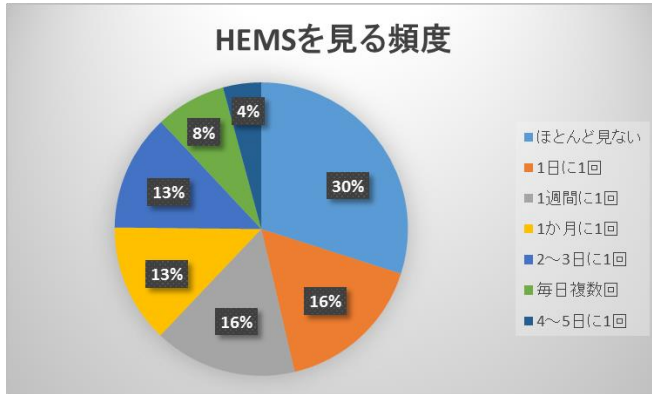


(3. HEMS について)

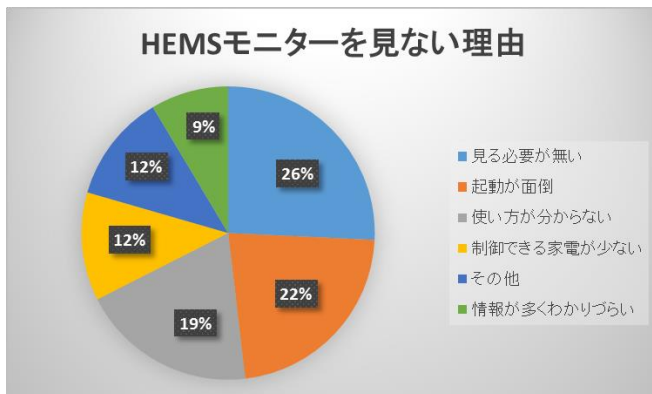
→「ほとんど見ない」、「1 か月に 1 回」で 4 割強を占め、あまりモニターを見ない理由は必要性を感じなかったり、起動させるのが面倒、使い方が分からない等であった。

導入のきっかけは、「補助制度の必須項目であったこと」や「エネルギーの見える化」であり、導入に満足している方は 7 割強であったが、知人に勧めたいと考える方は 5 割強であった。

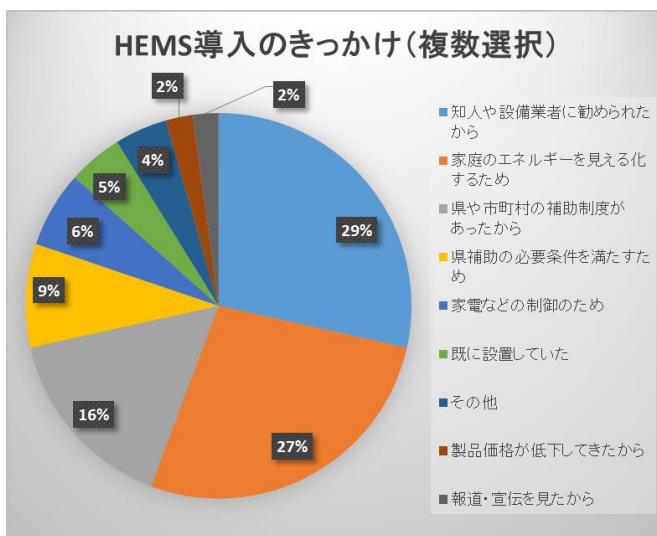
設問 4 HEMS のモニターを見る頻度について教えてください。



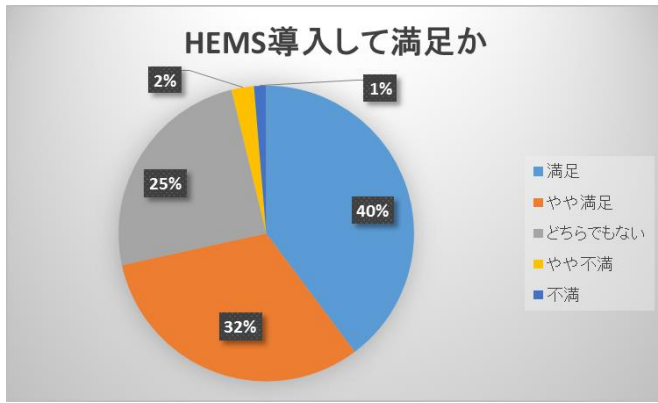
設問 5 設問 4 で「1 か月に 1 回程度」「ほとんど見ない」と回答した方へ伺います。あまりモニターを見ない理由は何ですか。(当てはまるものをすべて選んでください)



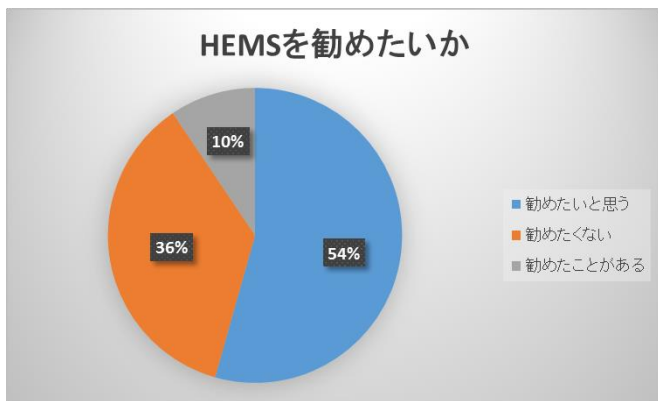
設問 6 HEMS を導入しようと考えたきっかけは何ですか。(当てはまるものをすべて選んでください)



設問7 HEMSを導入して満足していますか。



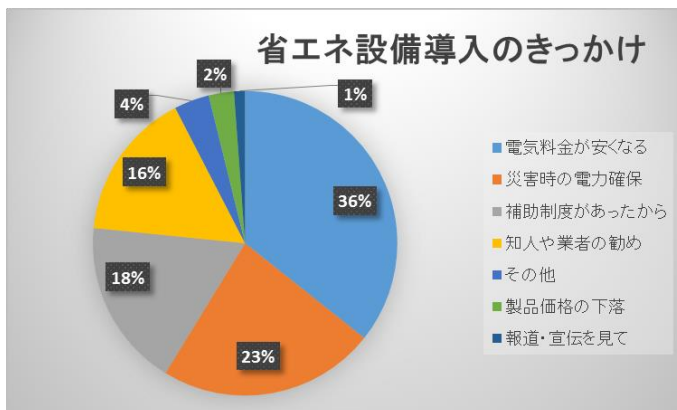
設問8 HEMSの導入を親戚や知人に勧めたいと思いますか。



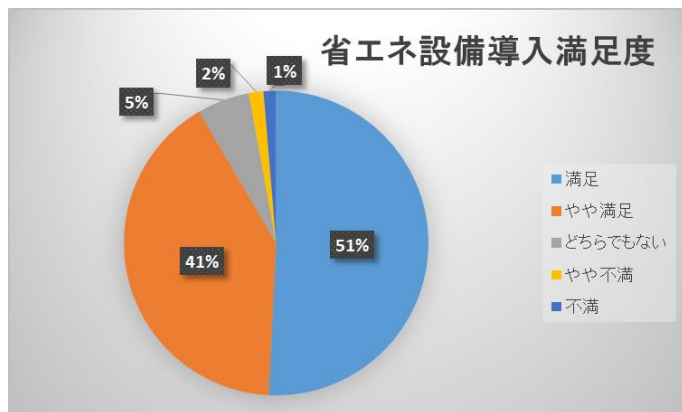
(4. 省エネ設備について)

→省エネ設備の導入は、「電気料金が安くなる」が36%、「災害時の電力確保」が23%と、光熱費や災害時の対策で6割弱を占めた。補助制度があることも2割弱の方があげており、導入の後押しとなったと思われる。

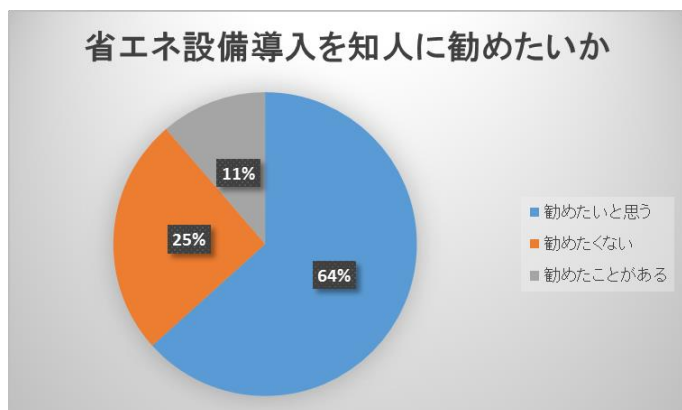
設問9 省エネ設備（補助対象設備）を導入しようと考えたきっかけは何ですか。（当てはまるものをすべて選んでください）



設問 10 省エネ設備（補助対象設備）を導入して満足していますか。



設問 11 省エネ設備（補助対象設備）の導入を親戚や知人に勧めたいと思いますか。

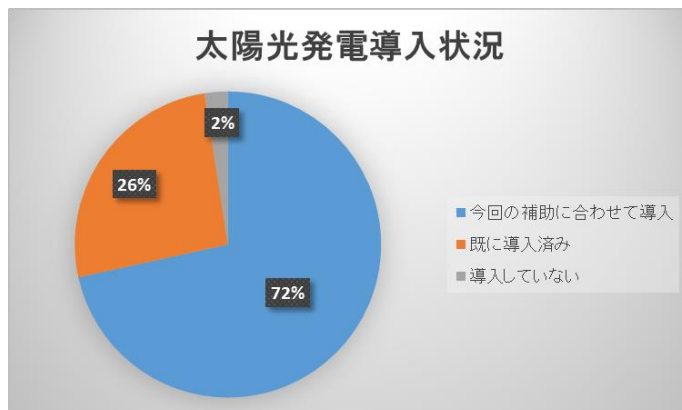


(5. 太陽光発電について)

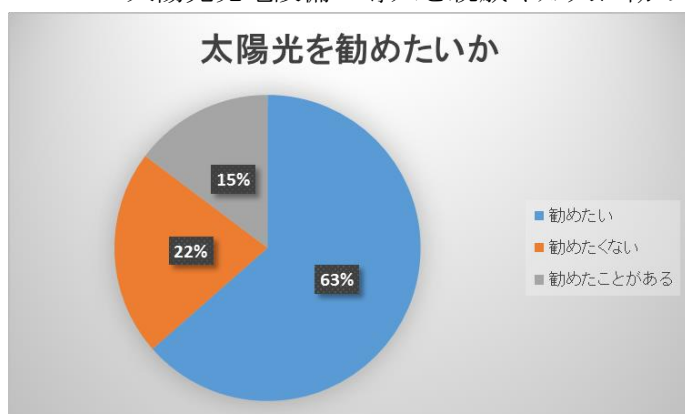
→今回の補助制度を利用し、回答してくれた方は98%が太陽光発電を導入しており、省エネ意識等の強さを感じる。中でも、今回の補助制度に合わせて導入した方が7割を超えており、蓄電池の設置に併せて導入したものと考えられる。

「太陽光を勧めたいか」の設問においては、「勧めたい」「勧めたことがある」で、8割弱を占めていた。

設問 12 太陽光発電設備を導入していますか。



設問 13 設問 12 で「今回の補助に合わせて導入した」「既に導入していた」と回答した方へ伺います。
太陽光発電設備の導入を親戚や知人に勧めたいと思いますか。



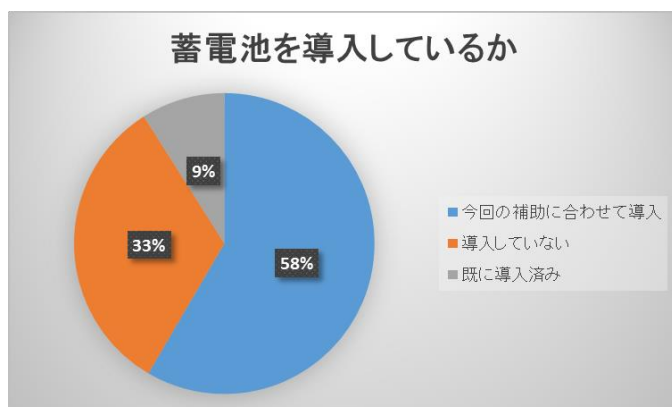
(6. 蓄電池について)

→蓄電池を導入している方は7割弱おり、今回の補助に合わせて導入した方のうち、7割は太陽光発電とセットで導入しており、既に太陽光発電を設置している方も3割弱いた。ほとんどの方が太陽光とセット利用を考えて設備を導入した。

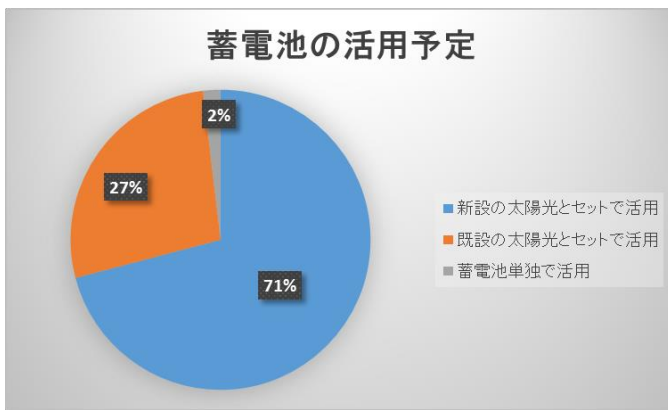
その中で、既設の太陽光発電とセットで活用するために今回導入した方は、「災害時、停電時の電力確保」が30%、「太陽光発電自家消費の充実」が23%、「深夜電力を充電し電力コストを削減」が17%であった。

また、蓄電池を単独で設置した2%の方(5人)は、「災害時、停電時の電力確保」が40%(4人)、「深夜電力を充電し電力コストを削減」が50%(5人)であり、単独設置の全員が「深夜電力を充電し電力コストを削減」を設置理由にあげていた。

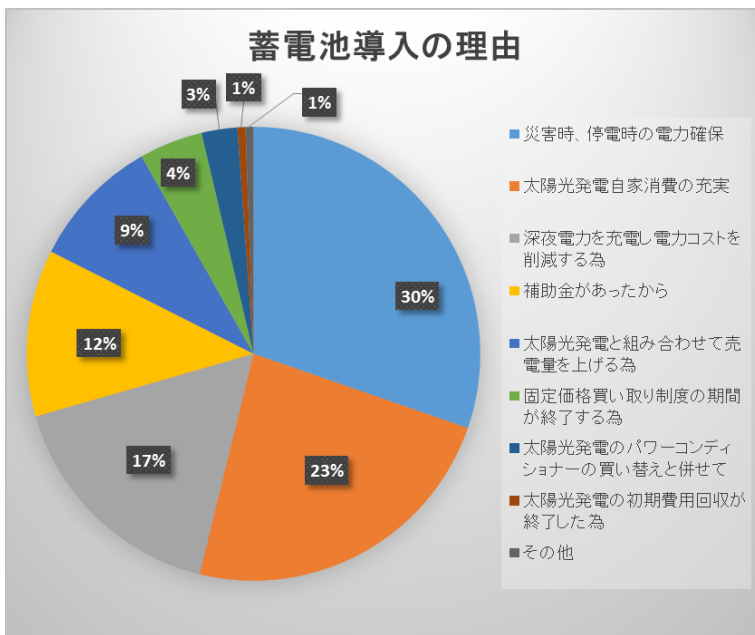
設問 14-1 蓄電池を導入していますか？



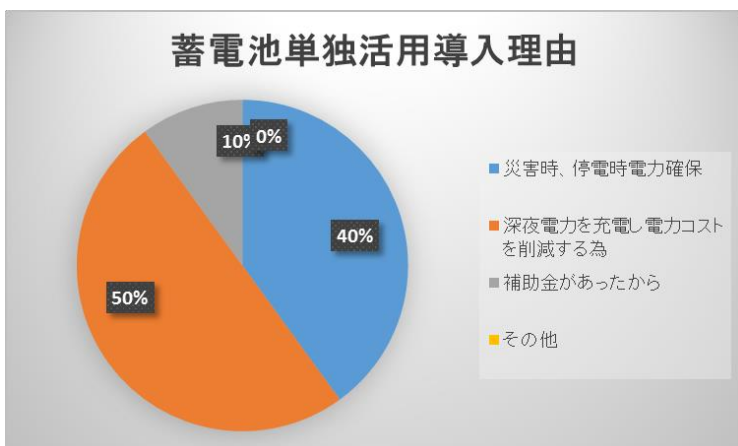
設問 14-2 設問 14-1 で「今回の補助に合わせて導入した」を選択した方に伺います。
どのように活用する予定ですか？



設問 14-3 設問 14-2 で「既設の太陽光発電とセットで活用する」を選択した方に伺います。
 今回、蓄電池を導入した理由は何ですか？（当てはまるものをすべて選んでください）



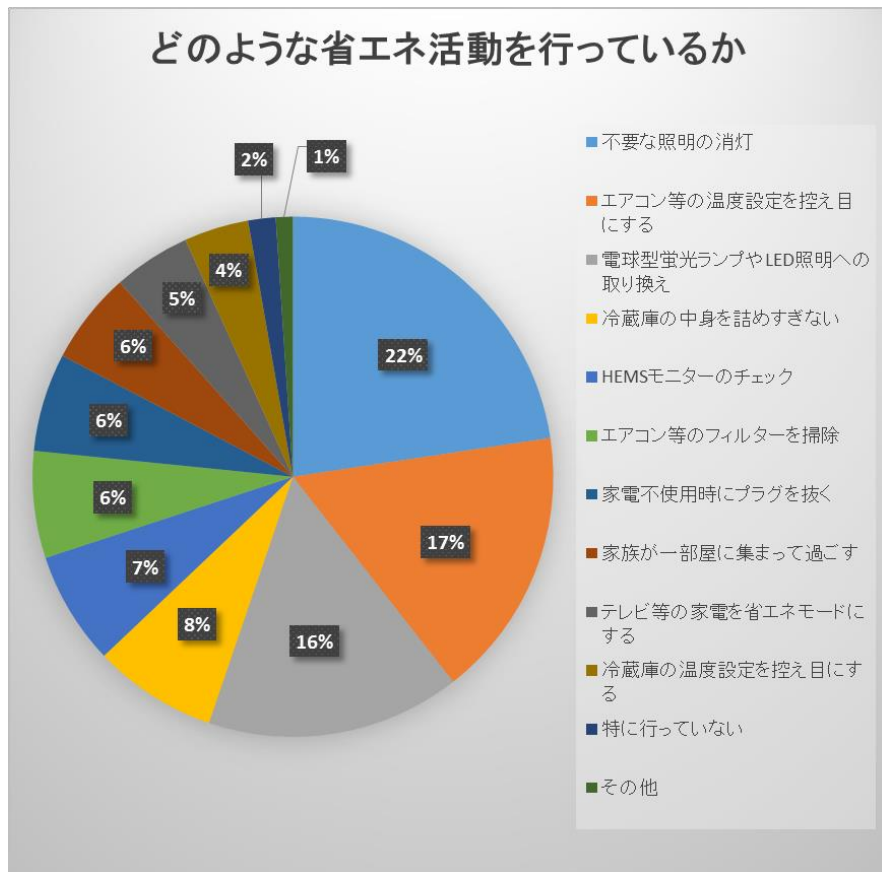
設問 14-4 設問 14-2 で、「蓄電池単独で活用する」を選択した方へ伺います。
 今回、蓄電池を導入した理由は何ですか？（当てはまるものをすべて選んでください）



(7. 省エネ活動について)

→「不要な照明の消灯」が22%、「エアコン等の温度設定を控え目にする」が17%、「省エネ照明に変更」が16%を占めた。

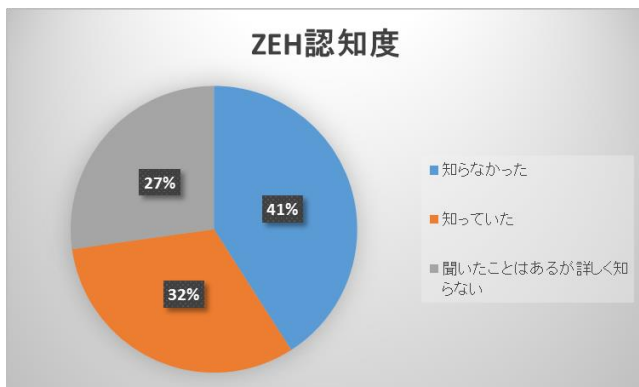
設問 15 現在どのような省エネ（節電）活動を行っているか教えてください。(当てはまるものをすべて選んでください)



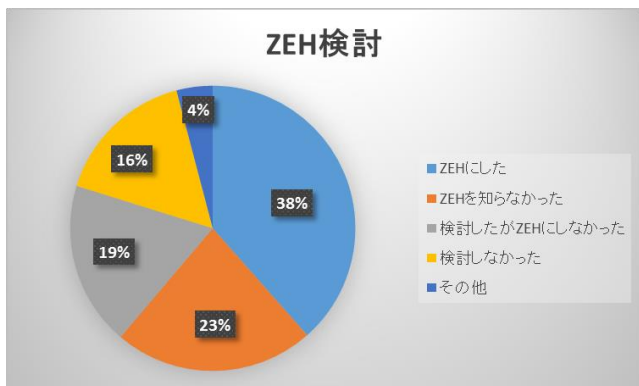
(8. ZEH について)

→ZEH という言葉を知っている方は6割弱いる一方、ZEH について知らない方もまだ4割強いた。新築で設備導入した方のうち38%はZEH にしており、検討したがZEH にしなかった方は、19%であった。検討したがZEH にしなかった理由は、「費用が高額」が35%、「必要性を感じない」が16%、「快適性に疑問」が13%を占めた。その他の回答としては、「国の補助金に申請したが落選した」「国の補助金申請時期に間に合わなかった」「窓の大きさを小さくしなくてはいけなく自分たちのプランに合わなかった」等があった。ZEH の提案がハウスメーカー等からあったかの設問では、有無半々であった。

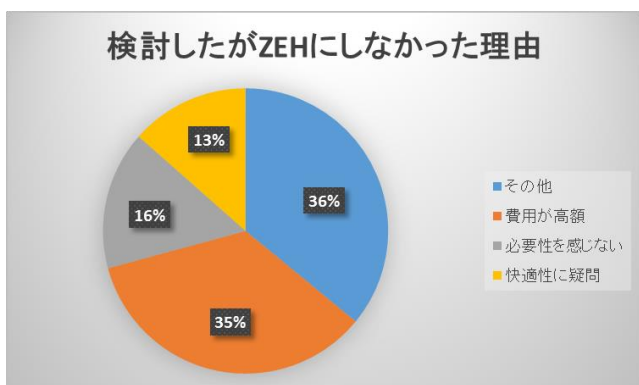
設問 16 今回の設備を導入するとき、ZEH を知っていましたか。



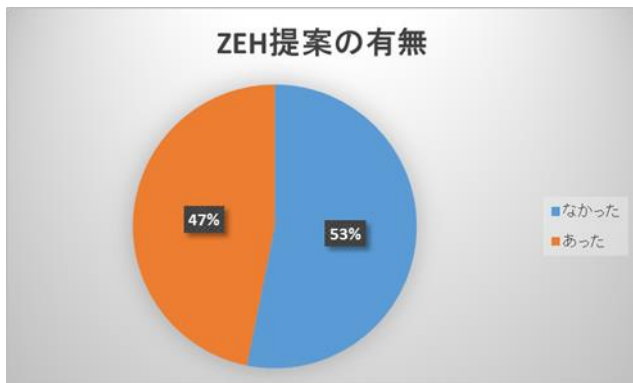
設問 17 新築時に今回の設備を導入された方へ伺います。住宅をZEH にすることを検討しましたか。



設問 18 設問 17 で「検討したが、ZEH にはしなかった」を選択した方はその理由を教えてください。(当てはまるものをすべて選んでください)



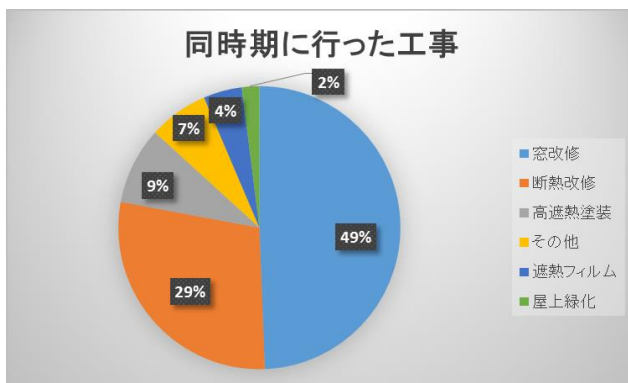
設問 19 設問 17 で「検討したが、ZEH にはしなかった」「検討しなかった」を選択した方へ伺います。ハウスメーカーや工務店、設備業者から ZEH にする提案はありましたか。



(9. その他)

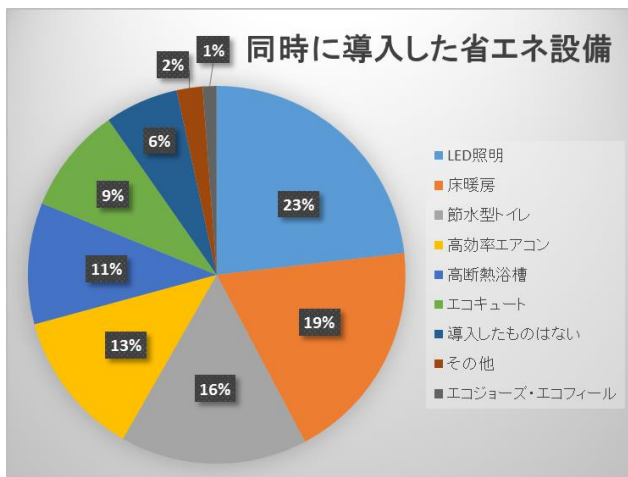
設問 20 今回の設備工事と同時に行った工事があれば教えてください。(当てはまるものをすべて選んでください)

→「窓改修」が5割弱、「断熱改修」が3割弱であった。



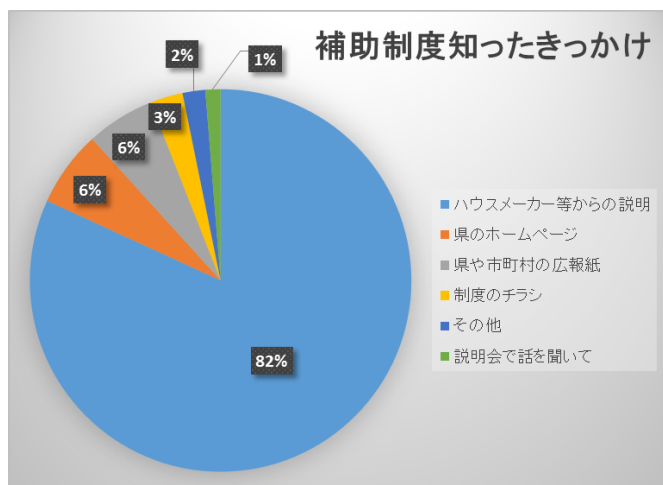
設問 21 今回の設備と同時に導入した省エネ設備があれば教えてください。(当てはまるものをすべて選んでください)

→「LED 照明」が2割強、「床暖房」が2割弱、「節水トイレ」が1割半強であった。



設問 22 埼玉県住宅用省エネ設備導入支援補助制度を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるものをすべて選んでください)

→「ハウスメーカー等からの説明」が8割強で大部分を占めた。



設問 23 御意見や御要望があれば御自由にお書きください。(抜粋)

- ・引き続き支援制度を実施してほしい。
- ・補助金が思った以上に安かった。
- ・ZEHも建築時期が年度の後半だと予算枠が無くなっているの使えないから提案しなかったとハウスメーカーから話がありました。
- ・今後も電力事情が各種制度の変化に即した補助を継続して頂きたいです。設備を導入することで地域へのメリット感があるならば。
- ・みんなが省エネをしてエネルギー消費を減らしたい。新築の家はみな太陽光発電装置設置を法律で義務づけるのは難しいでしょうか。
- ・なかなか一般に知られていない制度だと思います。広く広報して頂くと導入が増えるかもしれません。これからもお世話になります。よろしく願いいたします。
- ・省エネ設備導入に満足し感動しています。マンションの時より電気ガス代が半分になりました。これからも省エネに努めます。
- ・現在の住宅には県の担当者が見回り提案するのはどうでしょうか。高齢者の見回りにもなるし業者よりも安心感があります。ただし委託業者だと結局不安なので県の職員でお願いしたい。
- ・埼玉県の補助制度を利用して良かった。省エネ意識を持ちできることからしっかり取り組んでいきたい。
- ・建設中に広報誌を見ました。支援補助制度のあることは全く知りませんでした。ありがたく思いました。
- ・もっと普及が進んでいけば良いと思います。
- ・制度の拡充をしてほしい。
- ・補助制度を利用して省エネ設備の導入は増えると良いと思います。その為に補助を一時的なものではなく永続的に続けてください。
- ・補助制度は導入の大きなインセンティブになったので引き続き実施して頂ければエコ設備は確実に増えると思う。
- ・既に効果のある太陽光発電によりオール電化災害予防を考えエコキュートも効果的です。今回の蓄電池は万が一の停電に備えての安心感があります。自然災害がないことを願っています。

- ・もっと住宅用省エネ設備が導入されれば良いと思う。エネルギーを使いたい放題使うのではなくこういう目の見えるところで一人一人が意識を変えていけば省エネ創エネの社会が実現できると思う。そのためにも自治体が補助金制度をもっと周知・充実させ省エネ・創エネ社会といえば「埼玉」と言われるようその一助を担ってほしいと思う。
- ・ZEH, 日本全土 100%普及したら原発の議論も 100%無意味なことになるでしょうね。ハウスに限らず太陽光に限らず 10 年に限らず正しいことはより多くより長く。ありがとうございます。
- ・修理や経年劣化で交換する際にも補助制度があれば心強いです。
- ・埼玉県の補助制度により金銭的にも非常にたすかりました。そのおかげで省エネ設備を設置できました。本当に感謝しております。
- ・補助金制度は非常に助かるものだがすべての人が理解をしているかが問題である。該当したらラッキーで終わらせない努力(説明会参加の義務化)が必要。ただ説明会でのプラス部分も必要。理解が重要。
- ・補助金増額希望。
- ・太陽光発電等は省エネという観点だけでなく災害時においても非常に有用な設備であることから今後発生が予想される災害に対応するために太陽光発電の省エネ住宅を増やすために当制度の可能な限りの継続をお願いしたい。
- ・将来機器の老朽化時に交換の補助金があるととても助かります。
- ・今回業者からのアドバイスを受け住宅用省エネにして良かったと思っている。県が推進する意味が良く分かった。
- ・一部補助が受け入れ出来ない設備があった、設置後でも受け付ける補助が在ると良い。
- ・補助金の制度の情報がとりにくい、行政でもっとアピールしてほしい。
- ・大変良い制度であり今後とも補助金の増額と補助金の拡大をお願いしたい。補助金ありがとうございました。
- ・ぜひ今後も税の有効活用願います。
- ・その節は大変お世話になりました、エネルギー自給自足賛成です。しかし凡人はすぐ設備投資をいつ回収できるか考えてしまいます。売電額も安くなり設置しないままいくのとどっちが得かと考えてしまう。原発事故でいろいろ変わりましたが、節電意識は大事ですが限度もあります。設備導入学が下がればもっと普及するのでしょうかが難しい問題です。高断熱浴槽は温度が下がらないのはいいけど寝そべって入るため湯量が増えて水道代が増えてしまいました。
- ・太陽光発電に県の補助金制度があれば良かった。
- ・10 年後の設備メンテナンス時も補助金でサポートしてほしい。
- ・今後も建設的な補助、運営を続けていただくことでより社会全体が省エネ志向となると思います。引き続き消費者に寄り添った活動をよろしく願いいたします。ありがとうございました。
- ・太陽光で電気を作って利用できるのは本当に素晴らしいことだけど、やはり天気次第なのでそこが怖い。今年は雨ばかりだった、だから売電も買電もそこそこだった。
- ・自分の家の設備が何をどう使っているのか、又今後何を導入するのかを考えまとめるのに参考となった。業者と相談してきめた家と設備だが、忙しさにかまけて深く考えなかったかもしれない。
- ・今回補助金制度で新築では色々で費用も掛かったのですがとても助かりました。またただ補助がもらえるというのではなく、改めて環境のことにも意識が向いたと思います。もっと色々やらないかと思いましたが…今後もっとこういう制度が充実したくさんの人が知って活用できるといいなと思います。ありがとうございました。
- ・まだまだ敷居の高い機械、設備だと思うのでもっと安くできればいいと思う。
- ・補助金をきっかけに色々取り組めることもあるので続けてほしい。
- ・今後は電気自動車の時代になるのでそのような設備にも支援をしていただければ光栄です。